



笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

卒業式まで、あと少し

いよいよ卒業式まで、あと4日となりました。今年の卒業式も感染対策のため、昨年と同様、6年生と保護者の方々、教職員で実施します。

残念ながら、在校生は参加できませんが、お世話になった6年生の大切な式のため、5年生が会場の設営や飾りつけをしてくれたおかげで、華やかな卒業式らしい会場になりました。

3月5日からは会場を使つての6年生の練習も始まりました。6年生にとって、思い出に残る素敵な卒業式になるよう、しっかり練習していきます。



<体育館設営 5年>



<体育館飾りつけ 5年>



<式歌の練習 6年>

在校生が6年生にメッセージを届けました！

本年度の「6年生を送る会」は、感染状況が厳しい期間で練習することのリスクを考慮し、各学級から6年生にお祝いのメッセージを送る形に変えて実施しました。

6年生が分かれて在校生の教室を訪れて、そこでメッセージを渡しました。在校生からは、今までお世話になったお礼や卒業する6年生へお祝いの言葉、学級で作ったメッセージを送りました。6年生からも在校生にお礼の言葉と家庭科で作った雑巾を送りました。

例年と違う形になりましたが、感謝の言葉やお祝いの気持ちを伝えられる機会ができて、子どもたちも満足そうな様子でした。

6年生の教室前には在校生が送ったメッセージが飾られています。



<メッセージのプレゼント>



<1年生からメダルのプレゼント>



<6年教室前のメッセージ>

生まれてくる命について学びました(2年)

3月10日助産師さんに来ていただいて、2年生が、お母さんのお腹の中で命が宿ってから赤ちゃんとして育っていく様子や生まれた赤ちゃんへの接し方などについて教えていただきました。

お母さんのお腹の中で育っていく赤ちゃんの様子に興味深く聞いたり、楽しそうにクイズに答えたりする子どもたちの様子が見られました。授業の後半では、赤ちゃん人形を使って、赤ちゃんを大事に持つ体験をさせていただきました。助産師さんの話を聞いて、子ども達は、命は一人に一つしかないもので、赤ちゃんに限らず、誰もが大切な存在であると感じ取っていました。



<お腹の中の赤ちゃんについて>



<クイズに挑戦>



<赤ちゃん人形を抱いて>

「社会を明るくする標語」優秀作品

白塚地区青少年育成協議会の活動の一環として、白塚小学校に在籍している児童及び白塚小学校を卒業し、現在一身田中学校に在籍している生徒を対象に「社会を明るくする標語」の募集が行われ、小学生から282名、中学生から124名の応募がありました。応募いただいた作品の中から優秀作品が決まりましたので紹介します。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 【1A】 ヘルメット ちゃんとかぶって 右左 | 澤村 翔太 |
| 【1B】 ありがとう いったらみんなが えがおになる | 正岡 楓羽 |
| 【2A】 あいさつで つながる心 ぼく笑顔 | 鈴木 雅治 |
| 【2B】 ありがとう 笑顔の花咲く おまじない | 加藤 大稀 |
| 【3A】 「ありがとう」 言ってくれて ありがとう | 内田 蒼來 |
| 【3B】 助け合い みんなで やさしさ 広げよう | フカイ ニコラス |
| 【4A】 あいさつで 心と心の 手をつなごう | 稲垣 瑠里子 |
| 【4B】 「がんばろう！」 はげまし言葉で 未来が変わる | 加藤 詩月 |
| 【5A】 あいさつは してもされても いい気分 | 井谷 茉由 |
| 【5B】 コロナでも 切れることのない ぼくらの「きずな」 | 片岡 永多朗 |
| 【6A】 今のあなたの行動が 未来のあなたにつながります | 上田 葉 |
| 【6B】 備えよう 自分の命 守るため | 辻屋 奏翔 |

厄年会からいただきました

本年度も厄年会(平成5年度卒業生)の方々から学校に「ワイアレスアンプ」と「電動シュレッター」を寄贈していただきました。ワイアレスアンプは運動場での行事や体育に、電動シュレッターは職員室の事務処理に活用させていただこうと思います。

3月5日(土)に厄年会の皆さんにご来校していただき、贈呈をしていただきました。

